体の部位から探す

髪
目
肌
歯と口
喉
胃腸
骨と関節
尿路
血管
心臓
臀部と腰
腎臓

症状から探す

老化と肌の問題
AGA/FAGA
ストレス管理（気分とエネルギー）
免疫力とアレルギー
体重管理
血圧
消化器系の問題
骨と関節
栄養とライフスタイル
性感染症
性機能障害（EDと早漏）

ニュース

海外から届くまでの流れ：輸送ルートと手続きの完全解説
品質を支える製造現場のリアル：安全・高精度の薬づくりを徹底解説
薬を安全に使うための完全ガイド：副作用対応・保存管理・海外製薬の流れ

最近の投稿

5月 05, 2026
虚血とは？原因・症状・治療をわかりやすく解説

5月 05, 2026
髪にいい食べ物まとめ｜薄毛・抜け毛対策に役立つ食事ガイド

5月 04, 2026
首のニキビはなぜできる？原因・対策・スキンケアのポイン

5月 03, 2026
血圧はどこから高血圧？正常値と基準、年齢別の目安を解説

5月 03, 2026
膀胱炎は市販薬で治療できる？知っておきたいポイント

このブログは役に立ちましたか?

あなたの名前

あなたのメールアドレス

主題

あなたのメッセージ (オプション)

提出する

戻る

血管

カルシトニンはどこから来るのか。分泌源、役割、このホルモンが重要な理由

4月 30, 2026 - By Dr. Ammu Muraleedharan

ホルモンは、体の中で多くの重要な働きを静かに支えています。

エネルギーの調整を助けるもの、成長を支えるもの、体のさまざまな仕組みのバランスを保つものなど、役割はさまざまです。その中で、あまり注目されていないホルモンのひとつがカルシトニンです。インスリンや甲状腺ホルモンほど話題にのぼることはありませんが、体のバランスを保つうえで確かな役割を担っています。

カルシトニンは、骨の健康とカルシウムのバランスに関わるホルモンとして知られています。血液中にどれだけカルシウムを保ち、どれだけ骨に蓄えるかを調整しています。このバランスは、丈夫な骨を保つことはもちろん、筋肉の働きや神経の活動を支えるうえでも欠かせません。

カルシトニンという名前は、甲状腺や骨代謝について学ぶときによく登場しますが、「カルシトニンはどこから来るのか」という疑問はよく出てきます。その分泌源を理解することで、体がどのようにカルシウムのバランスを保ち、このホルモンが全身の健康にとってなぜ大切なのかが見えてきます。

ここでは、カルシトニンがどこから分泌されるのか、分泌のしくみ、甲状腺との関係、そしてこのホルモンが体にとってなぜ重要なのかを詳しく見ていきます。

目次 (もくじ)

1. カルシトニンはどこから分泌されるのか
2. カルシトニンとは何か。体の中での役割
3. カルシトニンの分泌はどのように起こるのか
4. カルシトニンと甲状腺の関係
5. カルシトニンが体にとって重要な理由
6. まとめ
7. 参考文献:

カルシトニンはどこから分泌されるのか

カルシトニンの主な分泌源は甲状腺です。甲状腺は、首の前側にある小さな蝶の形をした腺組織です。この中には傍濾胞細胞と呼ばれる特殊な細胞があり、C細胞と呼ばれることもあります。これらの細胞がカルシトニンをつくり、血液中に放出しています。

血液中のカルシウム濃度が通常より高くなると、これらの細胞はカルシトニンの分泌を増やします。分泌されたホルモンは血流に乗って全身を巡り、さまざまな組織に働きかけてカルシウム濃度を下げるよう指示します。

甲状腺が主な分泌源ですが、ごく少量のカルシトニンは他の組織でも作られることがあります。ただし、体内を循環しているカルシトニンの大部分は、この甲状腺由来のものです。

そのため、甲状腺はカルシウム調節や骨代謝と密接に結びついた臓器といえます。

カルシトニンとは何か。体の中での役割

カルシトニンは、血液中のカルシウム濃度を調整するホルモンです。カルシウムは、骨を丈夫に保つ、筋肉を動かす、神経の信号を伝えるなど、多くの働きに欠かせないミネラルです。これらの仕組みが正常に機能するためには、体がカルシウムのバランスを慎重に保っている必要があります。

血液中のカルシウム濃度が高くなると、カルシトニンの分泌が増えます。するとカルシトニンは、カルシウム濃度を下げるためにいくつかの働きをします。

- まず、骨を壊す細胞の働きを抑えます。これらの細胞は破骨細胞と呼ばれます。破骨細胞の働きが弱まると、骨から血液中に放出されるカルシウムの量が減ります。
- 次に、カルシトニンはカルシウムを骨の中に蓄える方向に働きかけます。これによって骨の強さが保たれると同時に、余分なカルシウムが血液中に出ていくのを防ぎます。
- さらに、腎臓が余分なカルシウムを尿として排出するのを助ける可能性もあります。

これらの作用が組み合わさることで、体内のカルシウムバランスが元に戻されます。

カルシトニンの分泌はどのように起こるのか

カルシトニンの分泌は、体が血液中のカルシウム濃度の変化を感知することから始まります。カルシウムが高くなると、甲状腺の傍濾胞細胞が素早く反応してカルシトニンを放出します。

放出されたホルモンは血液に乗って全身に運ばれ、骨や腎臓といった標的となる臓器に作用します。

骨では、カルシトニンが骨を吸収する細胞の働きを抑え、カルシウムが血液中に出ていくスピードを遅らせます。腎臓では、余分なカルシウムを尿として体外へ排出する方向に働きかけることがあります。

この仕組みは、他のカルシウム調節ホルモンと連携して働いています。例えば、副甲状腺ホルモンやビタミンDなどです。カルシトニンがカルシウム濃度を下げる方向に働く一方で、副甲状腺ホルモンは必要に応じてカルシウム濃度を上げる方向に作用します。

こうしたホルモン同士の協調によって、体内のカルシウムバランスは安定に保たれています。

カルシトニンと甲状腺の関係

カルシトニンと甲状腺の関係はとても重要です。なぜなら、甲状腺がカルシトニンの主な産生の場となっているからです。

多くの人にとって甲状腺といえば、代謝を調整するサイロキシン（T4）やトリヨードサイロニン（T3）といったホルモンを分泌する臓器というイメージが強いかもしれません。しかし、甲状腺の中にはカルシトニンを分泌する傍濾胞細胞も存在しています。

これらの細胞は、甲状腺濾胞と濾胞の間に位置しており、カルシウム調節に特化した役割を担っています。

カルシトニンは甲状腺でつくられますが、その主な役割は代謝ではありません。むしろ、体内のカルシウム濃度を適切に保ち、骨の健康を守る仕組みを支えることが中心です。

こうした特徴から、カルシトニンは内分泌系の中でも独自の重要な位置を占めるホルモンといえます。

カルシトニンが体にとって重要な理由

カルシトニンは、日常の健康情報の中では「主役」として語られることは多くありませんが、それでも体の中でいくつかの重要な働きを担っています。

その大きな役割のひとつが、カルシウムバランスの維持です。血液中のカルシウム濃度は、一定の範囲内に保たれている必要があります。これが高すぎたり低すぎたりすると、筋肉や神経、骨の働きに影響が出てしまいます。

また、カルシトニンは骨の健康を支えるうえでも補助的な役割を果たしています。骨組織の分解を抑えることで、骨密度や骨の構造が保たれるように働きます。

医療の現場では、甲状腺の状態を調べる検査の一環としてカルシトニンの値が測定されることもあります。ただし、こうした検査は医師の管理のもとで行われるものであり、一般的な健康診断で広く使われているわけではありません。

近年では、オンライン薬局や薬の通販を通じて医薬品や検査に関する情報に触れる機会も増えていますが、ホルモンに関わる評価は自己判断に頼らず、医療機関での確認が重要です。

全体として、カルシトニンはさまざまなホルモンが関わり合う複雑なネットワークの一員として、体内のバランスを保つ役割を担っています。

まとめ

カルシトニンは、カルシウム濃度の調節や骨の健康維持に関わる重要なホルモンです。このホルモンは主に甲状腺内の特殊なC細胞から分泌されており、甲状腺は体内のカルシトニンの主な供給源となっています。

カルシトニンの分泌によって、血液中のカルシウム濃度が高くなったときに、骨や腎臓に働きかけてバランスを取り戻すことができます。一見目立たない存在ではありますが、カルシトニンは体内の環境を安定させるうえで確かな役割を果たしています。

カルシトニンがどこから来て、どのように働いているのかを知ることは、体内のホルモンシステムの理解を深めるだけでなく、甲状腺が全身の健康維持において果たしている重要な役割を知る手がかりにもなります。

参考文献:

- Cleveland Clinic. Calcitonin: What It Is, Function & Levels [Internet]. Cleveland Clinic; 2022 Feb 2 [Cited 2026 Mar 6]. Available From: Https://My.Clevelandclinic.Org/Health/Articles/22330-Calcitonin
- Society For Endocrinology. Calcitonin [Internet]. Bristol (UK): Society For Endocrinology; [Cited 2026 Mar 6]. Available From: Https://Www.Yourhormones.Info/Hormones/Calcitonin/
- StatPearls Publishing. Altomare A, Singh A. Calcitonin [Internet]. Treasure Island (FL): StatPearls Publishing; 2023 Aug 16 [Cited 2026 Mar 6]. Available From: Https://Www.Ncbi.Nlm.Nih.Gov/Books/NBK537269/
- Binkley N, Fitzpatrick LA, Khosla S. Calcitonin And Procalcitonin: Revisiting The Overlooked Role Of C Cells [Internet]. Metabolism. 2025; [Cited 2026 Mar 6]. Available From: Https://Www.Sciencedirect.Com/Science/Article/Pii/S0026049525003038
- Razmandi P, Razmandi R, Razmandi R, Razmandi P. Calcitonin: Current Concepts And Differential Diagnosis [Internet]. J Clin Transl Endocrinol. 2022;28:100300. Available From: Https://Pmc.Ncbi.Nlm.Nih.Gov/Articles/PMC9125613/

RELATED POSTS

めまいと高血圧について知っておきたいこと

4月 16, 2026

あなたは本当に塩分を摂り過ぎていませんか？過剰な塩分への不安と減塩のコツ

1月 13, 2026

動脈硬化を管理するライフスタイルアプローチ：食事と運動の方法

1月 13, 2026

症状

- 老化と肌の問題
- AGA/FAGA
- ストレス管理（気分とエネルギー）
- 免疫力とアレルギー
- 体重管理
- 血圧
- 消化器系の問題
- 骨と関節
- 栄養とライフスタイル
- 性感染症
- 性機能障害（EDと早漏）

クイックリンク

- HOME
- ニュース
- 閲覧履歴
- お気に入り
- カート
- お知らせ
- 新規登録
- ショップに戻る

注文方法

© 2026 お薬ショップ All Rights Reserved.